

ファイアウォール設定について

株式会社TKC

「e-TAX法定調書」を利用するためには、ファイアウォールソフトおよびファイアウォール機器等が、「e-TAX法定調書」の通信を許可する設定が必要です。

そのため、貴社のシステム担当者様に、以下の設定となっていることをご確認ください。

1. 「e-TAX法定調書」の動作要件（ファイアウォール設定）

貴社のネットワーク上でファイアウォール機器等が動作している場合、以下の通信宛先およびポートへの通信を許可する設定となっていること。

(1) e-TAX 法定調書を利用する場合に許可する宛先とポート

宛 先	URL	ポート
国税電子申告・納税システム (e-Tax)	https://uketsuke.e-tax.nta.go.jp	443
地方税ポータルシステム (eLTAX)	https://www.portal.eltax.lta.go.jp	443
株式会社TKC	https://etaxlicense.tkc.co.jp	443
	https://cts.tkc.co.jp	443
	http://ctsdwnld.tkc.co.jp	80
	https://ctsdwnld.tkc.co.jp	443
	https://www.prft.tkc.co.jp/	443
	https://tkcexpress.tkc.co.jp	443
	https://www.tkc.jp	443
	https://gprooe.tkc.co.jp	443
	https://cbc.tkc.jp	443
株式会社TKC (プログラムインストール ／プログラムダウンロード ／ISOダウンロード)	http://crl.*.amazontrust.com	80
	http://ocsp.*.amazontrust.com	80
	http://*.microsoft.com	80
	https://*.microsoft.com	443
	http://*.windows.com	80
	https://*.windows.com	443
	http://*.windowsupdate.com	80
	https://*.windowsupdate.com	443
	http://download.microsoft.com	80
https://download.microsoft.com	443	

※「第六世代税理士用電子証明書」で電子署名する場合は、次のURLを許可してください。

宛 先	URL	ポート
リモート署名サーバー	https://jfcpta-rssp.hsm.toshiba.co.jp/	443
第六世代管理ツール	https://nzs6.e-probatio.com	443
第六世代管理ツール (可変文言データ取得、CP/CPS 参照用)	https://www.e-probatio.com	443

(2) e-TAX 法定調書(報酬・不動産マイナンバーオプション)を利用する場合に許可する宛先とポート

報酬・不動産マイナンバーオプションをご利用の場合、上記に加え、下記についても許可が必要です。

宛 先	URL	ポート
株式会社TKC	https://HFMyNumberSetup.tkc.co.jp	443
	https://HFMyNumberManagement.tkc.co.jp	443

2. 通信を許可するプログラム

(1) e-TAX 法定調書を利用する場合に許可するプログラム

ファイル名	ファイルの場所
EtsMain.exe	(システムドライブ):¥Program Files (x86)¥TKCDOTNET¥ETHOTEI
EtsPKey.exe	
DownloadTkUpdate.exe	(システムドライブ):¥Program Files (x86)¥TKCDOTNET¥ETHOTEI¥CTS
EtsAppLauncher.exe	(システムドライブ):¥Program Files (x86)¥TKCDOTNET¥ETHOTEI¥CTS (システムドライブ):¥Program Files (x86)¥TKCDOTNET¥ETHOTEI¥CTS¥Temp
TkUpdate.exe	(OSドライブ):¥Program Files (x86)¥TKC¥Update
BasicSetup.exe	(OSドライブ):¥Program Files (x86)¥TKC¥Update¥*****
TkUpdate.exe	※フォルダ名の*****部分は、システム登録状況により値が異なります。 「1.3.45.129」のように数値と「.」の組み合わせとなりますので、
TkUpdate0dm.exe	Updateフォルダ内を確認してください。
DOTNETVer4DL.exe	(OSドライブ):¥ProgramData¥TKC¥CDROOT¥PROGRAMS¥WIN¥FW4
DOTNETVer2DL.exe	(OSドライブ):¥ProgramData¥TKC¥CDROOT¥PROGRAMS¥WIN¥FW35SP
instMS14DL.exe	(OSドライブ):¥ProgramData¥TKC¥CDROOT¥PROGRAMS¥WIN¥MSEE2014
instMS22DL.exe	(OSドライブ):¥ProgramData¥TKC¥CDROOT¥PROGRAMS¥WIN¥MSEE2022
SQL2022-SSEI-Expr.exe	
OEClient.exe	(システムドライブ):¥Program Files (x86)¥TKCDOTNET¥ETHOTEI¥OEClient
SystemUsageSender.exe	(システムドライブ):¥Program Files (x86)¥TKCDOTNET¥ETHOTEI¥CBC
	(OSドライブ):¥Users¥<ユーザー名>¥AppData¥Local¥Temp¥TkSystemUsage2nd ※<ユーザー名>はコントロールパネル>システム>システムの詳細設定で環境変更 Temp をご確認ください。

※「システムドライブ」は、e-TAX法定調書をインストールしたドライブです。

※「OSドライブ」は、OSが登録されているドライブです。

(2) e-TAX 法定調書(報酬・不動産マッチング)を利用する場合に許可するプログラム

報酬・不動産マッチングをご利用の場合、下記についても許可が必要です。

ファイル名	ファイルの場所
eTaxMNMngm_CL.exe	(システムドライブ):¥Program Files (x86)¥TKCDOTNET¥ETHOTEI¥eTaxMNMngm
RegMngmCer_Client.exe	(システムドライブ):¥Program Files (x86)¥TKCDOTNET¥ETHOTEI¥eTaxMNMngm¥RegMngmCer

※「システムドライブ」は、e-TAX法定調書をインストールしたドライブです。

3. 設定が必要なネットワーク機器およびソフトウェア

- (1) UTM(統合脅威管理)製品・機器
- (2) ファイアウォール装置、ファイアウォールソフト
- (3) プロキシサーバー
- (4) ウイルス対策ソフト、セキュリティ対策ソフト等

(ご注意)

「e-TAX法定調書」をパソコンに登録した際に、コントロールパネル>インターネットオプションの「信頼済みサイト」に、国税電子申告・納税システム(e-Tax)のURL、および地方税ポータルシステム(eLTAX)のURLが登録されます。

4. プロキシサーバーの認証方式に関する制約

地方税 e L T A X 仕様では、プロキシサーバーの認証方式に関する制約として、対応している認証方式は「BASIC 認証」「Digest 認証」「Negotiate (NTLM) 認証」とされています。

e - T A X 法定調書をご利用のパソコンからインターネットに接続する経路に認証が必要なプロキシサーバーが設置されている場合は、その認証方式が「BASIC 認証」「Digest 認証」「Negotiate (NTLM) 認証」のいずれかであるかどうかを、貴社のシステム担当者の方にご確認ください。

以上